

## 取扱説明書

Instruction Manual

## 簡易型攪拌機

SS P1

SS P2

SS P2F

## 目 次

安全上のご注意	2
設置上の安全に関する注意	3
使用上の安全に関する注意	3、4
フレキシブルワイヤーの取扱いについて	4
外観及び各部の名称	5、6
組立方法	6
取扱方法	6
お手入れについて	7
仕様	7
速度調節目盛と回転数の関係について	7
製品保証について	8



お買い上げありがとうございます。

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
 本製品をより安全に、また良好な状態でご使用いただくために『取扱説明書』をお読みになって、正しくお使い下さい。  
 『取扱説明書』をお読みになった後は、お使いになられる方がいつでも見られるところに大切に保管して下さい。また、製品を譲渡されたり、貸与されるときには新しく使用者となられる方が安全で正しい使い方を知るために『取扱説明書』を製品本体の目立つところに添付して下さい。

**アズワン株式会社**

## 安全上のご注意

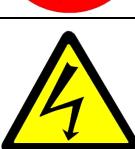
この取扱説明書では製品を安全に、正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐため、安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますので、これらの指示に従って、安全にご使用いただくようお願い申し上げます。

### 各警告表示の定義

 <b>危険</b>	取扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。	 <b>注意</b>	取扱いを誤ると、軽度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
 <b>警告</b>	取扱いを誤ると、重度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。	 <b>お願い</b>	安全を確保するために注意が必要な事項。

いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

### 安全確保の図記

	特定しない、一般的な注意、警告、禁止事項		分解及び改造により感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止
	機器の特定の場所に触ると傷害が起こる可能性がある場合の禁止		感電の危険性の注意
	高温による傷害が起こる可能性がある場合の注意		破裂、爆発の危険性の注意
	指を挟みこむ危険がある場合の注意		ファン等に巻き込まれる危険性の注意
	特定しない一般的な使用者の行為		アース線の接続の指示

## <設置上の安全に関する注意>

製品の設置にあたっては、安全な使用と製品の機能を十分に発揮させるため、次の項目をよくお読みの上、適切な場所をお選びください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・近くに引火性の固体・液体・気体のないところ。</li><li>・周囲温度が5~35℃以内のところ。</li></ul>
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・結露しないところ。</li><li>・水平で安定したところ。</li><li>・湿気の少ないところ及び水滴のかからないところ。</li><li>・ホコリの少ないところ及び風通しの良いところ。</li><li>・直射日光のあたらないところ。</li><li>・電源コードは、足を引っ掛けないようなところに取りまわしてください。</li></ul>

本器は屋外で使用することはできません。

## <使用上の安全に関する注意>

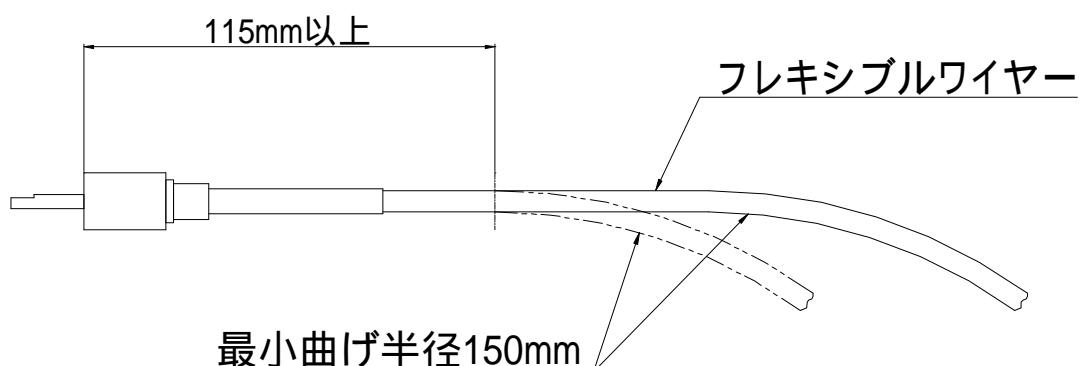
 警告	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・改造及び分解はしないでください。改造及び分解したものを使用して事故がおきた場合、当方は一切の責任を負いかねます。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・爆発事故・火災事故を避けるために、引火性及び爆発性のガスを発生させるような液体は絶対に攪拌しないでください。</li><li>・有害な溶液を攪拌する場合は、その溶液や本品の取り扱いには十分注意してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・スイッチ等に攪拌する液やその他液体がかからないようにしてください。電気部分に液体が侵入すると、感電などの事故の原因となります。</li><li>・通電中にコネクタを外して、端子部分に触ったりしないでください。又コネクタの部分に水がかからないようにしてください。感電の恐れがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・電源プラグの差しこみがゆるいコンセントは使用しないでください。接触不良により、火災の原因となる場合があります。</li><li>・運転状態で運搬しないでください。攪拌羽根に触れてケガをしたり、他の機器と接触し、損害を招く恐れがあります。</li><li>・速度調節ツマミは絶対に外さないでください。やけどや感電の恐れがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・本品の攪拌羽根及び攪拌棒やチャックが回転している時は、それらの部分は絶対に触らないでください。又、衣類などが巻き込まれる恐れがありますので、回転中は回転部分に近づかないでください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・モーターは連続運転可能で、高回転で連続運転を続けると非常に高温になりますが異常ではありません。</li><li>製品が高温になった場合はモーターに触れないようにしてください。やけどをする恐れがあります。</li></ul>

**⚠ 注意**

	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転を停止させる場合は、速度調節ツマミを「0」にしたまま停止させないで、必ず電源スイッチを OFF の位置にして停止させてください。「0」のままで放置すると故障や万一の異常により設定外の動作をする可能性があります。</li> <li>回転数を上げる場合は、急に回転を上げないで、徐々に回転を上げてください。急に回転を上げると攪拌する液が飛び散る恐れがあります。</li> <li>回転時にモーターコントロールのリード線や電源コードは、近付けないようにしてください。巻き込まれる恐れがあります。</li> <li>腐食性ガスの発生する恐れのある溶液は、攪拌しないでください。モーターコントローラーやモーターが故障する恐れがあります。</li> <li>攪拌する溶液が飛び散らないような回転域で使用してください。</li> <li>攪拌羽根・攪拌棒・チャックのセットビスは確実に締め付けてください。緩く締めると回転中に外れる恐れがあります。</li> <li>停電発生時は電源スイッチを OFF にしてください。突然の再始動によるケガ等の可能性があります。</li> <li>本品を別売りのスタンドに固定する場合、ボルト類は確実に締め付けてください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。又、電源プラグを抜く時は、プラグ部分を持って抜いてください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>異常音や発煙がある時は、直ちに電源を遮断して使用を中止してください。</li> </ul>

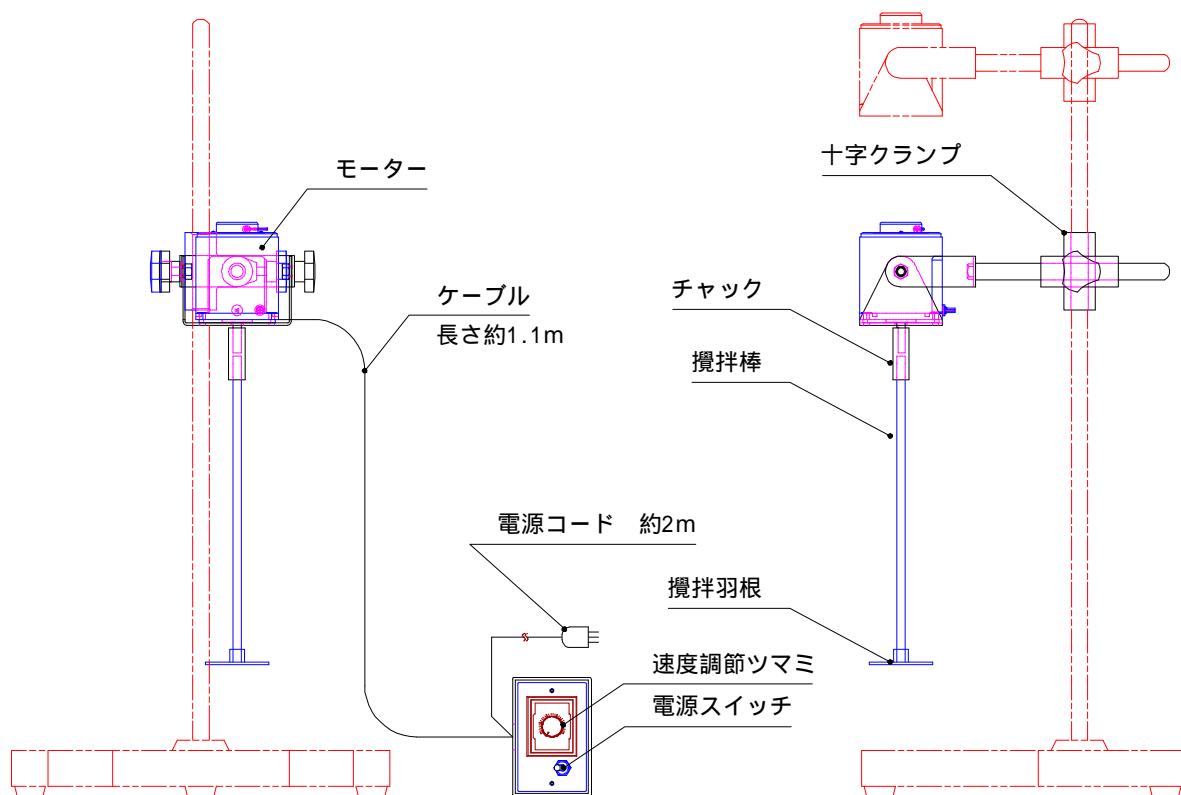
<フレキシブルワイヤーの取扱いについて（SS P2F のみ）>

 <b>注意</b>	<p>出来るだけ大きな曲げ半径で御使用下さい。 小さな曲げ半径で御使用されると、伝達効率の低下、摩擦による発熱、インナーシャフトの破損等の原因となります。 又、フレキシブルワイヤー端部より 115mm以上控えて曲げて下さい。</p>
--	--

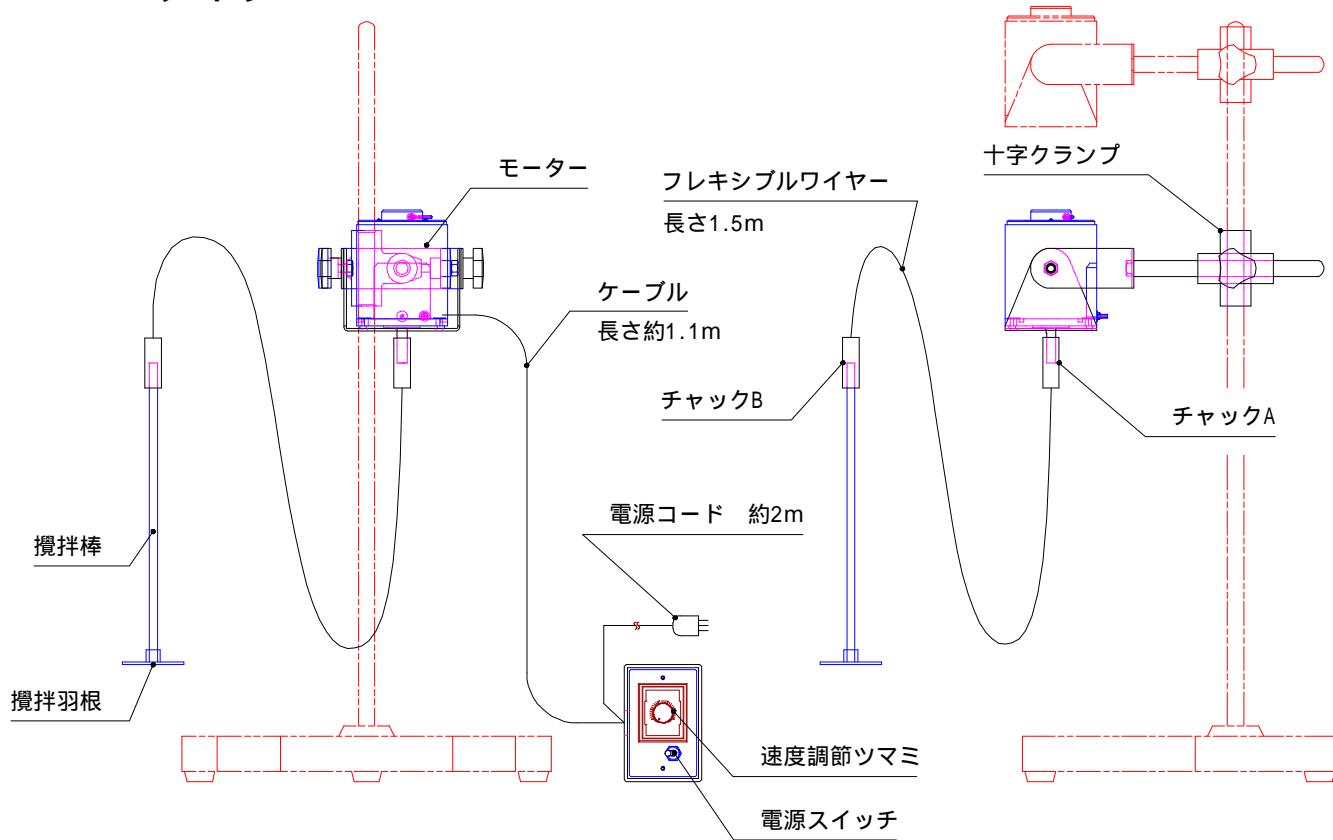


## <外観図及び各部の名称>

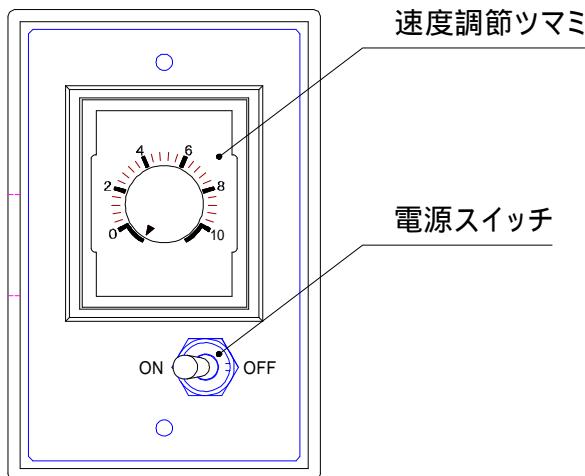
### SS P1/P2 タイプ



### SS P2F タイプ



## コントローラー部



### <組立方法 (SS P1/P2 タイプ) >

1. 攪拌棒に攪拌羽根を差し込み、付属しているL型レンチで攪拌羽根のセットビスを締め付けて固定してください。
2. モーターのシャフトにチャックを差し込み、L型レンチでチャックのセットビスを締め付けて固定してください。
3. 攪拌棒をチャックに差し込み、L型レンチでチャックのセットビスを締め付けて固定してください。
4. 必要に応じて本品を別売りのスタンドに固定してください。

### <組立方法 (SS P2F タイプ) >

1. 攪拌棒に攪拌羽根を差し込み、付属しているL型レンチで攪拌羽根のセットビスを締め付けて固定してください。
2. モーターのシャフトにチャックAを差し込み、L型レンチでチャックAのセットビスを締め付けて固定してください。
3. 2で取付けたチャックAにフレキシブルワイヤーの片方を差し込み、L型レンチでチャックAのセットビスを締め付けて固定してください。
4. フレキシブルワイヤーのもう片方にチャックBを差し込み、L型レンチでチャックBのセットビスを締め付けて固定してください。
5. 4で取付けたチャックBに攪拌棒を差し込み、L型レンチでチャックBのセットビスを締め付けて固定してください。
6. 必要に応じて本品を別売りのスタンドに固定してください。

### <取扱方法 >

1. 電源スイッチがOFF側になっていることを確認した後、電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。
2. 速度調節ツマミが0の位置になっていることを確認した後に、電源スイッチをON側にしてください。
3. 速度調節ツマミを徐々に回し、ご希望の回転スピードにセットしてください。

モーターは連続運転可能で、高回転で連続運転を続けると非常に高温になりますが異常ではありません。  
(特に目盛6以上の場合)

製品寿命を短くする恐れがございますので、このような場合は一度休止し製品温度が落ち着いてから再度運転を開始してください。

また、くれぐれもやけどには注意し、モーターに触れないようにしてください。

速度調節の目盛と回転数の関係は7ページの表をご参照ください。

## <お手入れについて>

清掃は、お湯又は水を硬く絞った柔らかい布で拭いてください。

取れにくい汚れは、中性洗剤を使用し、洗剤の使用後は布で拭きとってください。

⚠ 警告	
	・お手入れの際は、電源プラグを必ずコンセントから抜いて行って下さい。
	・直接水をかけたりしますと感電等の事故や故障の原因になりますので、絶対にしないで下さい。
⚠ 注意	
	・クレンザー（磨き粉）、シンナー、灯油、酸等、及びこれに類するものは、絶対に使用しないでください。

## <仕様>

型式	SS-P1	SS-P2	SS-P2F
モーター部 外形寸法 (mm)	W160×D300×H430	W165×D315×H452	W735×D315×H985
電源電圧	AC100V 50 / 60Hz Max1.0A	AC100V 50 / 60Hz Max1.6A	
モーター出力	25W	40W	
回転数	90 ~ 1400rpm (50Hz) / 90 ~ 1700rpm (60Hz)		
最大トルク (1200rpm 時)	0.14N·m (50/60Hz)	0.30N·m / 0.24N·m (50/60Hz)	
製品重量	3.6Kg	4.8Kg	6.0Kg
付属品	攪拌棒 8×300mm : 1本 攪拌羽根 : 1個 チャック 8mm 用 : 1個 十字クランプ : 1個 L型六角レンチ : 1個	攪拌棒 8×300mm : 1本 攪拌羽根 : 1個 チャック 8-10mm 用 : 1個 十字クランプ : 1個 L型六角レンチ : 1個	攪拌棒 8×300mm : 1本 攪拌羽根 : 1個 チャック A 10-6mm 用 : 1個 チャック B 8-6mm 用 : 1個 十字クランプ : 1個 L型六角レンチ : 1個 フレキシブルワイヤー : 1本

モーター部外形寸法は 攪拌棒、フレキシブルワイヤー等をセットした際の参考外寸となります。

## <速度調節目盛と回転数の関係について>

速度制御範囲	<p>50 Hz: 90~1400 rpm 60 Hz: 90~1700 rpm</p> <p>モータのばらつきや環境条件(温度・ノイズ)によって速度が変動する可能性があります。目安としてください。</p> <table border="1"> <caption>Estimated data points from the graph</caption> <thead> <tr> <th>Control Scale</th> <th>50Hz (rpm)</th> <th>60Hz (rpm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>2</td><td>~100</td><td>~100</td></tr> <tr><td>4</td><td>~300</td><td>~300</td></tr> <tr><td>6</td><td>~600</td><td>~600</td></tr> <tr><td>8</td><td>1400</td><td>1700</td></tr> </tbody> </table>	Control Scale	50Hz (rpm)	60Hz (rpm)	0	0	0	2	~100	~100	4	~300	~300	6	~600	~600	8	1400	1700
Control Scale	50Hz (rpm)	60Hz (rpm)																	
0	0	0																	
2	~100	~100																	
4	~300	~300																	
6	~600	~600																	
8	1400	1700																	

# 製品保証について

## 保証書

本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に下記保証規定(1)に基づく正常な使用状態での故障の節は下記保証規定により修理いたします。

品名			
型式			
保証期間	お買い上げ日より1年間		
お買い上げ日	年	月	日
お客様	様		
ご住所	TEL.		
取り扱い店名	担当者印		
住所	TEL.		

**アズワン株式会社**

### <保証規定>

- (1) 弊社商品を、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは、当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び使用条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。
- (2) 次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
  - ・誤使用、不当な修理・改造による故障。
  - ・本品納入後の移動や輸送或いは落下等による故障。
  - ・火災、天災、異常電圧、公害、塩害等外部要因による故障。
  - ・接続している他の機器が原因による故障。
  - ・車両・船舶等での使用による故障。
  - ・消耗部品、付属部品の交換。
  - ・本保証書の字句を訂正した場合、購入年月日・購入店の記入がない場合、及び保証書の提示がない場合。
- (3) ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦頂きます。
- (4) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

商品についてのお問い合わせは

カスタマー相談センター

TEL 0120-700-875  
FAX 0120-700-763

問合せ専用URL <https://help.as-1.co.jp/q>

修理・校正についてのお問い合わせは

修理窓口

TEL 0120-788-535  
FAX 0120-788-763  
問合せ専用E-mail [repair@so.as-1.co.jp](mailto:repair@so.as-1.co.jp)

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分 土・日・祝日及び弊社休業日は、ご利用できません